

みんなで
ともに
乗り越えよう



住んでいたいまち
住んでみたいまち

なかよく みんな えがおの
花咲くまち なみえ

町が行っている取組についてお知らせします。

浪江町タマネギ生産組合が南あわじ市を視察訪問

11月10日(木)~12日(土)、一般財団法人ワンアースが実施する「東北復興宇宙ミッション」事業の一環として、浪江町タマネギ生産組合(組合長 松本善郎さん)がタマネギ生産の先進地である兵庫県南あわじ市の個人農家や農業法人、兵庫県農業技術センターなどを訪れ、育苗や乾燥貯蔵の方法、病虫害対策などについて学びました。

また、南あわじ市長を表敬訪問し、町の復興や農業再生の取組を報告するとともに、タマネギ生産の課題などについて意見交換を行いました。



先進地での育苗方法を学ぶ



南あわじ市守本恵弘市長(左)から「淡路島たまねぎ」をいただきました

☎農林水産課農政係 ☎0240(34)0245

浪江のお米、収穫祭を開催

10月28日(金)~30日(日)、東京農業大学世田谷キャンパスにおいて収穫祭が開催され、10月29日(土)には苅宿地区においても収穫祭が開催されました。

東京農大生が苅宿ふれあいファーム(代表 松本伸一さん)指導の下、苅宿地区の圃場で田植えや稲刈り作業などを学んだことをきっかけに、新たに苅宿産のお米が東京農業大学収穫祭の販売商品に加わりました。

東京農大生は睡眠時間を削りながら工夫を凝らして準備を進め、苅宿産のお米は浪江町と東京農業大学のつながりが末永く続くよう願いを込め「なみえつながる米」として販売されました。また、なみえつながる米、えごまソルト、えごま味噌からなる「学生ごはんセット」は、あっという間に売切れとなりました。

苅宿地区では稲作を再開してから4年が経過し、目標としていた収穫祭を今年初めて開催できました。収穫祭では苅宿産のお米を使ったおにぎりや豚汁などが無料で振る舞われ、秋の味覚を楽しむ1日となりました。

今後も、東京農業大学と当町の連携を深め、農業の復興に取り組みます。



苅宿収穫祭



東京農大収穫祭

☎農林水産課農政係 ☎0240(34)0245



浪江町除染検証委員会が検証結果報告書を提出

11月21日(月)、第4回除染検証委員会が開催され、来年春の避難指示解除を予定している特定復興再生拠点区域についての除染状況、除染後の放射線量率などを検証し、同日、結果報告書を吉田栄光町長へ提出されました。

報告書では、「除染が概ね完了し、環境省の実施した測定結果によると、当該区域の空間線量率は除染前の平均値より約64%の低減がされており、避難指示解除の目安となる年間20mSvを十分に下回ることが確認された。主な生活圏となる地域の空間線量率の低減が図られており、放射性物質による汚染環境は着実に回復している。」と評価され、今後、環境中の放射線モニタリングや住民の被ばく線量の管理、リスクコミュニケーション体制の継続、必要に応じた追加除染の対応など『実施すべき対策』を提言されました。



検証結果報告書を提出する塚田祥文委員長

☎住民課除染環境係 ☎0240(34)0228

浪江町の復興加速に向けた協議会を開催

11月24日(木)、浪江町役場において、「第8回 浪江町の復興加速に向けた協議会」を開催し、太田房江原子力災害現地対策本部長、竹谷とし子復興副大臣が出席しました。

本協議会では、これまでの復興に向けた取組による成果を確認し、町からは議会とともに、これからの課題として帰還困難区域の再生、特定復興再生拠点区域の継続的な支援、福島国際研究教育機構も含む中心市街地の一体整備などを要望しました。



浪江町の復興加速に向けた協議会

☎企画財政課企画調整係 ☎0240(34)0240

ふれあいニュースポーツ交流大会チャンピオン大会の 優勝報告

10月25日(火)、郡山市において「ふれあいニュースポーツ交流大会 チャンピオン大会」が開催されました。この大会は県内で地区優勝をした6チームが参加し、全3種目（囲碁ボール、スカットボール、ボッチャ）で優勝を争い、浪江町老人クラブ連合会（会長 小椋正吉さん）が初代チャンピオンとなりました。

11月4日(金)、浪江町役場において浪江町老人クラブ連合会が総合優勝したことを吉田栄光町長へ報告しました。



吉田栄光町長へ優勝報告
左から 半谷珠代さん、小椋正吉さん、高木孝さん

☎ 浪江町社会福祉協議会 TEL 0240 (34) 4685

農業委員会だより

農地転用の際は現地調査を行います

農業委員会では農地転用の審査にあたり、現地調査をします。現地調査では申請地において会長、担当農業委員、担当地区の農地利用最適化推進委員および事務局で境界の確認や、申請者から転用の事業計画や周辺農地へ悪影響を及ぼさないための措置などの説明を受けることとなっています。詳細については、事務局までお問合せいただくか、ホームページをご確認ください。



農地転用による現地調査

◇福島県農業会議永年勤続農業委員・農地利用最適化推進委員表彰、を受賞

11月10日(木)、令和4年度福島県下農業委員会大会において、農業委員の紺野宏さん（津島地区）が永年勤続農業委員・農地利用最適化推進委員として表彰されました。

紺野さんは、平成20年7月から現在まで14年余りの長きにわたり農業委員および農地利用最適化推進委員として町の農業振興にご尽力いただいた功績が認められ、今回の受賞となりました。



功績をたたえ

2月総会に提出する議案の申請締切日は、2月1日(水)です。お早めにご相談ください。

☎ 農業委員会事務局（農林水産課内） TEL 0240 (23) 5706

ここから下は広告です。